

ローマン漂う



乙女神社の 羽衣伝説

むかし、比治の里に三右衛門（さんねも）という狩人が住んでいました。ある日、三右衛門はいさなごの山の頂の池で水浴する8人の天女を見かけ、その羽衣の一つを隠しました。三右衛門は、羽衣をかくされた天女を連れて帰って妻とし、三人の娘をもうけました。

天女は農業や養蚕、機織り、酒造りが上手でこの家はもとより比治の里はたいそう豊かになりました。

しかし、天恋しさにたえかねた天女は、三右衛門の留守に娘たちから隠し場所を聞きだし、大黒柱の穴にあった羽衣を身につけると、外から帰った三右衛門に「七日七日に会い

ましょう」と再会を約束して大空に舞い上がっていきました。

大路地区にある乙女神社は天女の娘の一人が祀られており、お参りすると美女が授かると言われています。近くに都市と農村の交流施設、「天女の里」があり、いろいろな体験ができ、夏場にはたくさんのキャンプ客で賑わっています。



ひっそりと佇む乙女神社



最高峰「磯砂山」の麓に広がる 羽衣伝説につつまれた神秘の鱒留区

まずだめ

鱒留区は峰山町の最高峰「磯砂山（いさなごさん）」661mの麓に広がる地区です。境界は大宮町、久美浜町、そして南側は兵庫県豊岡市とも繋がります。地区内を東西に国道が走り、また比治山トンネルの開通もあり、市内でも要所としての位置づけがなされています。また、国道バイパスの早期着工も長年にわたって陳情が行われています。

人口世帯数統計を見ると、ここ40年で世帯数は7%減、人口は41%減となっており人口の流出が見えます。近年、どこの地区でも、少子高齢化の波が押し寄せています。当地区も例外ではありません。

世帯数 98
人口 268 人
(平成 24 年 10 月 31 日現在)

峰山町
鱒留区



流しそうめんでき暑気払い 話が弾みます



遅くまでたくさんの人でにぎわいます



大型重機では入れないような細い道路まで除雪が行き届くようになりました

鱒留区福祉推進会議

「わいわいサロン」と称して、高齢者の集う機会を作っています。日頃出歩くことが少なくなつた高齢者が集まり、賑やかな交流をしています。

七夕祭りと地蔵盆

大路地区と本郷地区で行われる夏の行事には、区民以外の参加者もあり、楽しい屋台やカラオケ大会など、ふれあいのひと時を過ごします。

区民の手で除雪を

平成24年度、市から小型除雪機が貸与されました。そんな中、12月10日に早速初出動をしました。大型除雪機との合計2台で、区内の府道及び市道の除雪を区民自らが行っています。

元気いっぱい

皆で盛り上げる鱒留区

グラウンドゴルフ大会

毎年、秋口に途中が丘公園グラウンドゴルフ場（日本グラウンドゴルフ協会公認コース）で開催されています。気持ちの良い秋空の下、隣組対抗で熱戦が繰り広げられます。



大きな賞品にニコリの参加者

そして、いろいろな賞を設けて区民の皆さんが楽しんでいきます。地区内の親睦も深まり、毎年の開催を楽しみにされている方もたくさんいます。



太刀振り保存会一同で記念撮影

ふじこそ 藤杜神社の太刀振り

藤杜（ふじこそ）神社では三年に一度、境内で太刀振りが奉納されています。

太刀振りは宮津市の溝尻地区から学んだといわれています。

一時期中断していたこともありましたが、三十数年前に「太刀振り保存会」が結成され、現在も続いています。

太刀振りは男子のみで行われてきましたが、少子化にはさからえず、平成22年からお囃子に女子が加わるようになりました。

